連携

栗原市立栗原中央病院
広報誌　令和６年８月発行
編　集　地域医療連携室
第９１号

病院の理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にする最善の医療を行い、地域に貢献します

基本方針

わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします

1．市民から信頼される、安全な医療を行います
2．良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます
3．地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします
4．地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます

皮膚科の紹介

皮膚科部長　谷田 宗男

2024 年４月より皮膚科常勤医師として赴任しました谷田宗男です。

当院皮膚科は 2023 年４月より１年間、皮膚科常勤医が不在となり東北大学から週１回の診察のみになっておりました。これにより栗原地区には皮膚科専門医常勤がおりませんでした。今後はこれからの栗原における皮膚疾患の治療に貢献できますように頑張りたいと思います。現在は毎日平日外来診療を行なっており、午前８時 30 分から 11 時までが受付時間で完全予約制になっており、新患患者さんは紹介状が必要となっております。皮膚科の診療としては一般的な皮膚科全般の保険診療をしており、帯状疱疹や蜂窩織炎、熱傷や薬疹・中毒疹、皮膚腫瘍の手術で入院が必要な患者さんの対応もしています。治療に関しては現在の標準治療に基づいた治療をこころがけています。

近年皮膚科では新しい治療法が次々と始まり、アトピー性皮膚炎や尋常性乾癬、慢性蕁麻疹などに生物学的製剤や低分子化合物（JAK 阻害薬）などの治療法が施され、非常に高い臨床効果をあげています。当院でも採用薬は限定されますが治療が可能です。また特殊な治療として、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬や難治性皮膚そうよう症、尋常性白斑などさまざまな皮膚疾患に効果がある紫外線療法も行っています。検査としては皮膚病理組織検査、ダーモスコピー検査などに加え金属アレルギーを調べるパッチテストなどもおこなっています。

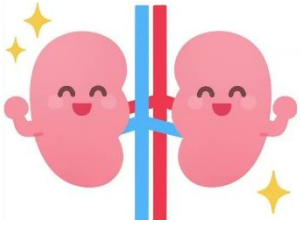
私は昨年まで東北労災病院に勤務しておりました。主に尋常性乾癬や掌蹠膿疱症などの炎症性皮膚疾患や職業性接触皮膚炎をテーマにして診療をしてまいりました。労災病院の特色として背髄損傷の患者さんの診療をすることが多く、難治性の褥瘡などの診療にも携わってきました、こちらにきてからは高齢者で寝たきりの患者さんの褥瘡を診察することが多くなりましたが、今までの経験を活かして褥瘡の治療もしっかりとおこなっていきたいと思います。これからどうぞよろしくお願いいたします。

透析予防のための CKD 医療連携

宮城 CKD サポートセンター　代表
栗原市立栗原中央病院　腎臓内科　杉浦　章　先生

このたび 2024 年５月より栗原中央病院にて腎外来を開設させていただく事になりました、宮城 CKD サポートセンターの杉浦章です。昨今の慢性腎臓病（CKD）対策の必要性・重要性が高まったことを受けて、より多くの患者様へ CKD 診療を届けるために地域の基幹病院、クリニックでの外来診療を展開させていただいております。

CKD は高齢化とともに増加傾向であり、2020 年の推計では 2000 万人、日本人の５人に一人が CKD に該当する現状です。一方で CKD 治療の進歩もあり、ここ数年で大きく外来診療は様変わりしています。SGLT2 阻害薬の登場で CKD 治療薬が存在する時代となった事で、多くの CKD 患者を透析に至る未来から救う事が可能になっています。しかしながら、自覚症状の全くない CKD 患者は自分が CKD である事すら知らずに、気づいた時にはもう透析が避けられない状況まで進行してから腎臓内科を受診する事も少なくありません。



腎臓内科外来では、治療可能な腎疾患（腎炎・ネフローゼや多発のう胞腎、腎前性、腎後性腎障害など）を鑑別し、CKD 治療薬（SGLT2i、RASi、MRA、GLP１等）の追加、腎障害性薬剤の中止、末期腎不全～透析へ至る可能性の説明と必要な療養指導を行っています。高齢者 CKD への末期腎不全時への見合わせを含めた適切な情報提供や、腎代替療法を必要とする場合に各医療機関との連携（大崎市民病院、達内科、東北大学病院 etc）なども対応いたします。

よりかかりつけ医の先生方及び患者様に近い立ち位置で腎臓内科外来を開設していますので、気軽にご紹介いただきます様何卒よろしくお願い申し上げます。

【腎臓内科のご案内】

≪診 療 日≫

毎週木曜日　８：30-11：00　（予約制）

完全予約制となっておりますので
地域医療連携室へお申し込みください

≪予約方法≫

１．当院専用の「紹介患者受診依頼票」に必要事項をご記入の上、診療情報提供書とともに地域医療連携室直通 FAX（0228-21-5336）にお申し込みください。

２．予約日時が決まりましたら、速やかにご紹介医療機関に FAX にてご予約の回答をいたします。

※「紹介患者受診依頼票」「診療情報提供書」を患者様に受診時に持参していただくようお伝えください。ご予約の回答 FAX は、患者様控えになります。日時、持参する物などが記入されておりますので、患者様にお渡しくださいますようお願いいたします。

連携のつどい“よらいん”報告

令和６年５月23日（木）、第35回連携のつどい“よらいん”を開催しました。今回の“よらいん”は**「今年度も栗原中央病院をよろしくお願いいたします」**をテーマに、栗原市内医療介護関係事業所から54名、院内職員25名、計79名の方々にご参加いただきました。

初めに当院の院長、中鉢先生より「栗原市立栗原中央病院の役割と現状」についてお話しいただきました。当院は二次救急病院として救急患者の受け入れる役割があること、それに伴い在院日数の短縮の必要性についてもお話いただきました。

次に部署・病棟紹介ということで看護師長・副看護師長から各病棟の特色や病棟での取り組みなど紹介いただきました。また参加いただいた10事業所からもＰＲタイムとして、各事業所の取り組みなどを発表していただきました。

外来・病棟スタッフからは、「常に電話でのやり取りが多い中、今回参加して顔の見える関係づくりの一歩になった」との意見が聞かれました。また院外参加者からは、「病院の現状を知ることができたので、病院スタッフと相談しながら円滑に退院を進められるようにしていきたい。」とご意見いただきました。

今後も、情報提供を通して、顔の見える関係となる“よらいん”を企画していきたいと思います。

特定行為研修　修了おめでとうございます！！

特定行為区分：栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連　創傷管理関連
研　修　期　間：令和５年７月１２日～令和６年６月２８日

当院、皮膚排泄ケア認定看護師、浅田祥子看護師長が、Zoom研修・技術研修・自施設実習を行い特定行為研修修了しました。

褥瘡または慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去や創傷に対する陰圧閉鎖療法等を医師から手順書通りと指示を頂くことで患者様の状態を見極めタイムリーな対応をすることができるようになります。患者様に安心安全に特定行為を提供できるようにしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

アルコール専門相談のご案内　～お酒との上手な付き合い方～

当院では、アルコール問題で悩むご本人・ご家族を対象にアルコール専門相談を行っています。

・飲酒量が増えた　　・飲む時間が長く、回復にも時間がかかる
・飲むスピードが速い　　・お酒をやめると手が震えたりイライラしてしまう　など

上記のような症状がある場合は、専門の相談員さんにお話してみませんか？

【開催日】毎月第２水曜日　AM10：00～
【場　所】栗原中央病院１階　相談室
【対　象】アルコール問題で悩むご本人・ご家族
【内　容】専門の相談員が個別に相談に応じます

相談内容などの秘密は厳守されます。無料ですので安心してご相談ください。

☆専門相談員の紹介☆

そわか　代表　齊藤健輔　氏（精神保健福祉士）
お酒は“百薬の長”といいますが、“万病のもと”とも言われます。お酒の飲み方と健康について、一緒に考えていくお手伝いをしています。ぜひ、お気軽にご相談ください。

問い合わせ先：栗原市立栗原中央病院　地域医療連携室　電話 0228-21-5330（代表）

心理療法のご案内

当院では、**主治医の指示のもとに**毎週金曜日の午後から、児童精神科対象の患者さまやアルコール依存症傾向のある患者さまを対象に心理療法を行っています。

☆専門相談員の紹介☆

公認心理師　山本圭子　氏
公認心理師の山本と申します。小児科にて児童精神科対象のお子さんと、内科の肝疾患がありアルコール依存傾向のある患者さんの心理療法を行っています。体のことを考えると、お酒は減らしたり、やめたほうがいいと分かっているけれどなかなか難しいものです。患者さん一人ではなく一緒に考えていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

対象の患者様がおりましたら、当院の医師にご相談ください。

【編集後記】
猛暑の日が続く中、皆様いかがお過ごしでしょうか。パリ五輪が始まり、連日明るい話題で賑わっていますね。当院では、皮膚科が平日毎日診療可能になり、また週１ではありますが腎臓内科の診療も始まりました。地域の病院として今後も頑張っていきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

栗原市立栗原中央病院
〒987-2205
宮城県栗原市築館宮野中央三丁目１番地１
（代表）TEL：0228-21-5330　FAX：0228-21-5350
地域医療連携室
（直通）TEL：0228-21-5335　FAX：0228-21-5336
https://www.kurihara-central-hp.jp/